

9

コスモミールの21

父 ダノンバラード

牝 黒鹿毛 2021年3月17日生 金石牧場生産



関東入厩予定

総額1,300万円 | 10分の1(130万円)より

Filly March 17, 2021 by Danon Ballade ex Cosmo Meal



ダノンバラード 黒鹿 2008	ディーブインバクト 鹿 2002	*サンデーサイレンス	<i>Halo</i>
		*ウインドインハーヘア	Wishing Well
	*レディバラード Lady Ballade 黒鹿 1997	Unbridled	Alzao
		Angelic Song	Burghclere
コスモミール 鹿 2003	*ヘクタープロテクター Hector Protector 栗 1988	Woodman	Fappiano
		Korveya	Gana Facil
	トリプルタイム 鹿 1996	*リアルシャダイ	<i>Halo</i>
		シェナンドアワルツ	Ballade
	*ヘクタープロテクター Hector Protector 栗 1988	Woodman	<i>Mr. Prospector</i>
		Korveya	*フレイメイト
トリプルタイム 鹿 1996	*リアルシャダイ	Riverman	
	シェナンドアワルツ	Konafa	

Halo 4S×4S, Mr. Prospector 4D×5S, Hail to Reason 5S×5S×5D

■血統と特長

父ダノンバラードは、現2歳世代が日本での種牡馬としての再デビューを果たし、すでに6月の東京の新馬戦で上り最速の鋭い末脚で勝ち上がっています。他にも上位争いする産駒が輩出して期待どおりの活躍を見せてくれています。本馬は父の産駒にしては馬体には幅があり、筋肉量が豊富です。この立派な馬体で体質が父に似てくれれば早い時期からの活躍ができると思っています。兄妹には上級クラスの馬こそいないものの、それぞれ父馬が違いますが、コンスタントに活躍してくれているのも強調材料です。芝のマイル前後に適性があるとみています。

■父ダノンバラード

ダノンバラードは日本産、5勝、アメリカJCC-G2、ラジオNIKKEI杯2歳S-G3、アンドロメダS-L、宝塚記念-G1 2着、皐月賞-G1 3着。主な産駒：ロードプレス(日本テレビ盃-Jpn2)、ナイママ(札幌2歳S-G2 2着)、ダノンレジーナ(東京シンデレラマイル-S3 2回)、ウインターフェル(ジャパングardtダービー-Jpn1 4着)。

■母系

母 コスモミール(03 *ヘクタープロテクター) 3勝、ダリア賞-OP(芝1400m)、マリーゴールド賞-OP(芝1400m)、新潟2歳S-JPN3 3着、フェアリーS-JPN3 5着、ファンタジーS-JPN3 5着。本馬は第10仔。産駒ファンアットコート(10牝鹿アドマイヤマックス) 1勝、マイネルリード(12牝鹿*コンデユイト) 2勝、稲城特別(芝2400m) マイネルサグラ(13牝栗マツリダゴッホ) 1勝、コスモス賞-OP 2着、高知(公)7勝、兵庫(公)4勝、 フレーパー(14牝栗*アイルハヴアナザー) 1勝、マイネルセボン(15騾黒鹿ダノンジャンティ)北海道(公)3勝、王冠賞3着、高知(公)1勝、南関東(公)2勝、佐賀(公)入着、ロータスクラウン賞4着、プラトフェルテ(17牝芦ゴールドシップ)佐賀(公)1勝、チューウィー(19牝栗スクリーンヒーロー)入着、

祖母 トリプルタイム(96 *リアルシャダイ) 3勝、万代特別。産駒ミュージーゴースト(牡*バゴ) 2勝、山藤賞、ラジオNIKKEI賞-G3 2着、東風S-L 3着、メイS-OP 3着、白百合S-OP 3着、アースシンボル(牝トウカイテイオー) 4勝、オクトーバーS、秩父特別、マーメイドS-G3 3着、アイルランドT-L 3着

曾祖母 シェナンドアワルツ(89 マルゼンスキー) 1勝。産駒ソフトワルツ：岩手(公)2勝。産駒

ゼウス：5勝、新潟日報賞、高尾特別、安土城S-OP 3着

四代母 ホースメンテスコ(76 *テスコボーイ) 3勝、桜花賞、エリカ賞。産駒ノーシーグレット：4勝、卯月S、下北半島特別。産駒ダークムーン：1勝。産駒

バーンダンス：入着。デンシャミチ(京王杯2歳S-JPN2)の母